

## 「消費材 Step Up 点検」ってなあに？

消費材はデビューすれば完成というわけではありません。生活クラブには生産者による内部点検と、おおぜいの組合員が参加する監査などによって、さらに消費材の品質を高めていく「自主管理監査制度」のしくみがあります。生産者と組合員の直接対話で消費材をよりよくするしくみの一つで、生活クラブらしい活動の一つです。(旧“おおぜいの自主監査”から名称が変わりました)



## ☆「消費材 Step Up 点検」の流れ

- ①点検の1か月前に事前学習会を行い、点検のまとを絞り、事前に質問事項などをまとめておきます。
- ②監査日は製造現場を訪問し、消費材が生産されているところを点検。
- ③点検報告書を作成し、生産者に改善してほしい点などを伝えます。また、私たちの活動にも生かしていきます。



## 株式会社 塩屋

「涸沼大和しじみ」でおなじみの茨城の単協独自提携生産者です。魚介類を美味しく味わえる消費材を組合員と一緒に開発しています。資源保護のために守りながら、育てながら、東日本大震災後の風評被害と闘いながら被災地の製品を消費者に届けています。

今回の生産者は「株式会社 塩屋」。当日は組合員3名と事務局2名で、11月13日に現地点検に行ってきました。単協独自生産者として2015年6月に批准してから、2018年度に初めての消費材 Step Up 点検となります。下記3点について主に点検しました。

- ①原材料の管理状況について
- ②製造及び衛生管理の取り組みについて
- ③各管理担当者・管理マニュアルについて

到着後、マスク、帽子、  
白衣を着て工場内へ



せっけんで、しっかり  
手洗い消毒



工場内で使用する  
ケース・ざるなど全  
て消毒します。



チェック表での管理状  
況を確認しました。



“虫取り機”業者が定期的  
に交換点検し、取れた虫の  
数もカウントしています。



あさりの選別  
作業中



当日はあさりの選別作業を点検。静かな工場内で、手の上であさをカチャカチャさせて、死貝などをよける作業が行われていました。

製造工程、作  
業内容を確認  
しました。



袋詰め後も検量  
します。



包材の圧着。当日は  
あさりでしたが、しじ  
みもここでいきます。



金属探知機  
このベルト上を流  
して検査します。



当日の現地監査意見として、

- 1) 原材料については、入荷当日に半製品化していることを確認。
- 2) 事故防止のため従業員が複数の目で確認していることを点検。
- 3) 衛生管理マニュアルはあったが、自社独自のものを作成した方が望ましいとの意見があった。

以上3点を生産者へ報告しました。

「涸沼大和しじみ」への双方の思いを寄せ、ぜひ利用しましょう。